

第5条. 利用促進策について

地域公共交通の維持存続の原点は、地域住民の利用促進であるため、自動車中心の生活の中で少しでも公共交通を利用してもらえるように、公共交通の利用を促す働きかけ活動を推進します。

(1) 理念＝エコ モビリティ ライフ

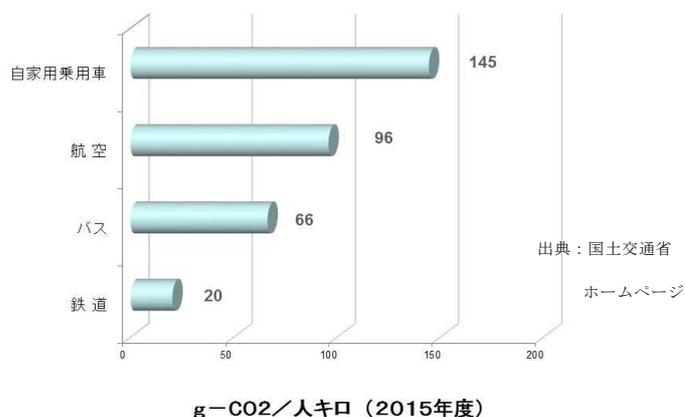
「エコ モビリティ ライフ」(略して「エコモビ」)とは、環境(エコロジー)の「エコ」、移動の「モビリティ」、生活の「ライフ」をつなげたことばで、クルマ(自家用車)と電車・バス等の公共交通、自転車、徒歩などをかきこく使い分けて、環境にやさしい交通手段を利用するライフスタイルです。

愛知県は、クルマの保有台数が全国一で、移動の手段としてのクルマ(自家用車)を利用する割合が約6割と、東京や大阪などの他の大都市圏に比べてクルマの利用が多い交通体系となっています。

クルマは非常に便利で、生活に不可欠な交通手段ですが、クルマへの過度な依存は、地球温暖化や交通事故、中心市街地の空洞化や渋滞などの問題にもつながります。こうした問題の解決や、お年寄りの移動手段の確保、一人ひとりの健康の維持・増進などに向けて、クルマに頼り過ぎず、クルマと公共交通などのバランスが取れた交通社会を創っていく必要があります。

愛知県では、国、市町村、事業者、各種団体、NPOなどと協力して、環境にやさしい交通行動を軸としたライフスタイル「エコ モビリティ ライフ」を県民運動として進めており、取り組んでいることから、一層の推進に努めます。

輸送量当たりの二酸化炭素の排出量(旅客)



◀ 地球温暖化の要因であるCO₂(二酸化炭素)について、クルマ(自家用車)が1人を1km運ぶのに排出するCO₂の量は、鉄道の約7倍、バスの約2倍です。

▼ 一生運転を続けた場合、3人に1人は人身事故を、また、385人に1人が死亡事故を起こす危険性があり、エコモビはそのリスク軽減につながります。

人身事故の発生率

※50年間運転したと仮定

- ① 年間約63万件(平成25年)
 - ② 運転免許保有者数 約8,186万人(平成25年末)
- ◆人身事故発生率(50年間)：

$$\frac{1 - [1 - (\text{①} \div \text{②})]^{50}}{1} \times 100 = 32\% \text{ (3人に1人)}$$

死亡事故の発生率

※50年間運転したと仮定

- ① 年間約4,300件(平成25年)
 - ② 運転免許保有者数 約8,186万人(平成25年末)
- ◆死亡事故発生率(50年間)：

$$\frac{1 - [1 - (\text{①} \div \text{②})]^{50}}{1} \times 100 = 0.26\% \text{ (385人に1人)}$$

出典：警察庁公表資料をもとに作成

資料：愛知県振興部交通対策課ホームページより